



月刊 千葉動力労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.3.12 No. 3364

91.3.12 改合理化 - 業務移管粉碎!

津田沼支部破壊 - 強制配転攻撃を許すな!

あつては第二波を全スライキ

ストライキ当日の行動予定

正午以降ストライキ突入

二四時半から (千葉市文化センター セミナー室)

津田沼支部臨時大会

二八時から (千葉市民会館・小ホール)

ストライキ総決起集会

★勤務者以外全員結集しよう

動労千葉は、三月十一日第七回拡大支部代表者会議を開催し、九一・三ダイ改阻止―業務移管粉碎第二波ストライキの方針を確認するとともに、告示日まであと一ヶ月余となった船橋市議選組織内候補中江昌夫氏三選にむけて、全力で闘うことを決定した。

津田沼支部破壊に反撃

第二波ストライキは、闘いの課題・具体的な要求については第一波ストと同じであるが、その上に、二十名もの大量の配

転の事前通知が出された津田沼支部破壊攻撃に対する反撃として闘い抜く。

さらに、駅への強制配転者の塩漬け状態と運転士登用差別攻撃、車両検査周期の「キロタイプ」廃止攻撃に対する反撃の闘いとして闘い抜く。

すでに津田沼支部は、ストライキ当日、臨時支部大会を開催し、支部破壊攻撃に対する断固たる反撃に立ち上ることを決定した。全支部は、この津田沼支部臨時大会に全力で結集し、津田沼支部解体攻撃粉碎の闘いともに立ち上がろう。

津田沼の聖域化狙う

JR当局は、津田沼運輸区―習志野運輸区からの動労千葉組合員の排除をとおして、習志野運輸区の「聖域化」―京葉運輸区化を狙っている。事実、津田沼車掌区から習志野運輸区へ配転される車掌はJR総連組合員が多いことをとってみても、当局がJR総連を習志野運輸区で多数派に育成しようとしていることは明らかだ。こうした津田沼支部破壊攻撃粉碎に全力で立ち上がろう。

総決起集会△△
へ結集を

さらに、ストライキ当日十八時から、千葉市民会館・小ホールで開催される動労千葉総決起集会に、勤務以外の全組合員が結集しよう。

今回のストライキは、JRになって以降はじめての職場要求をかかげたストとして闘いぬかれていく。JR当局は、このわれわれの切実な要求に対しても一顧だにせず、はじめから終わりまで同じ回答を繰り返すという、団交ならざる団交を繰り返すのみであった。しかも、あまりにも硬直したスト対策にいたっては、JR当局の社会性・公益性すらかなぐりすてた姿をあらわにした。われわれは、この闘いをおして「JR体制」の危機と矛盾をいま一歩おし進めたと確認できる。

全組合員の総決起で、第二波ストをうちぬこう。そして、津田沼支部臨時大会、動労千葉総決起集会へ総結集し、動労千葉破壊攻撃をはねかえそう。